

令和 4 年度

「運営に関する計画」

大阪市立清江小学校

令和 4 年 4 月

大阪市立清江小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 日々の子どもたちのようすは、明るくのびのびと学校生活を送っている。
- 自尊感情を高め、学校生活全般の中や体験活動を通して自己肯定感を高めることができる取組を工夫していく。
- 話し合う活動を、積極的に取り入れるなど児童にとってわかりやすい授業を実践することができたが、学習内容の基礎基本の定着に課題をもつ児童がおり、学力の向上を図るため、きめ細かい指導を継続していく必要がある。
- 体力に関しては、指標を上回ることができなかった。新型コロナウイルスの感染拡大長期蔓延が関与していると言わざるを得ないところもあるが、運動を苦手とする児童もいることから運動が苦手な児童を減らす取組を進めていく。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の学校アンケートにおいて、「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校アンケートにおいて、「友達を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがある」の肯定的な回答を80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の学校アンケートにおいて、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。
- 令和7年度の学校アンケートにおいて、「授業では、よく話し合ったり発表したりしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の学校アンケートにおいて、「健康な生活を心がけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の学校アンケートで、デジタルドリルを活用して「勉強が楽しくなった」と肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の学校アンケートで、「家で学習者用端末を使って学習をしている」と肯定的に回答する保護者の割合を80%以上にする。
- 令和7年度の教員アンケートで、協働学習支援ツールを「積極的に活用した」と肯定的に回答する割合を80%以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1(基準2)を満たす教員の割合を80%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- ・ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- 令和4年度の学校アンケートにおいて、「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和4年度の学校アンケートにおいて、「友達を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和4年度の全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがある」の肯定的な回答を70%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小学校）

- ・ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。
- ・ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。
- ・ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を40%以上にする。

学校園の年度目標

- 令和4年度の学校アンケートにおいて、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。
- 令和4年度の学校アンケートにおいて、「授業では、よく話し合ったり発表したりしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。
- 令和4年度の学校アンケートにおいて、「健康な生活を心がけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小学校）

【ＩＣＴの活用に関する目標】

- ・デジタル教材を活用した学習を週１回実施する。
- ・学習者用端末を活用した家庭学習を週１回実施する。
- ・協働学習支援ツールを用いた学習を週１回実施する。

【教職員の働き方改革に関する目標】

- ・ゆとりの日を週に１回設定・実施する。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準１（基準２）を満たす教員の割合を７５％以上にする。

学校園の年度目標

- 令和４年度の学校アンケートで、デジタルドリルを活用して「勉強が楽しくなった」と肯定的に回答する児童の割合を７５％以上にする。
- 令和４年度の学校アンケートで、「家で学習者用端末を使って学習をしている」と肯定的に回答する保護者の割合を７５％以上にする。
- 令和４年度の教員アンケートで、協働学習支援ツールを「積極的に活用した」と肯定的に回答する割合を７５％以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準１（基準２）を満たす教員の割合を７５％以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

(様式2)

大阪市立清江小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。 ・年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。 ・年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度の学校アンケートにおいて、「学校は楽しい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 ○令和4年度の学校アンケートにおいて、「友達を大切にしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 ○全国学力・学習状況調査で「自分にはよいところがある」の肯定的な回答を70%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1、安全・安心な教育環境の充実】</p> <p>みんなが楽しく学校生活が送れるよう、学校のきまりを理解し、守ることができる児童を育てる。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生活ふりかえりカード」の取組を年間3回行う。 ・児童会活動で、「学校のきまり」に関する啓発や、児童による点検活動などの主体的な行動ができるように計画する。 	
<p>取組内容②【2、豊かな心の育成】</p> <p>異学年との交流を図り、協力して仲良く活動できる取組を行う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たてわり班での取組を年間3回行う。 	
<p>取組内容③【2、豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験活動や人や事との出会いの場を多く設け、豊かな心を育む。 	

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゲストティーチャーを招いての授業や出前授業を各学年 1 回する。 ・ 遠足や社会見学、宿泊行事を実施し、体験的な活動を取り入れる。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

(様式2)

大阪市立清江小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を30%以上にする。 ・小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント以上向上させる。 ・小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を40%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度の学校アンケートにおいて、「授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にする。 ○令和4年度の学校アンケートにおいて、「授業では、よく話し合ったり発表したりしている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を70%以上にする。 ○令和4年度の学校アンケートにおいて、「健康な生活を心がけている」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を75%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>習熟度別授業や個に応じた指導等、指導方の工夫により、基礎基本の定着を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、レディネスや復習問題などで、子どもの実態を把握し、個に応じた指導を行う。 	
<p>取組内容②【4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>授業の中で「話し合う活動」等を取入れ、児童が主体的・対話的で深い学びができたと思えるように指導方法の研究を行う。</p>	

指標 ・全教員が公開授業を計画的に行い、指導力を向上させる。	
取組内容③【５、健やかな体の育成】 子どもの体力づくりや運動能力向上のための取組を充実させる。	
指標 ・体力づくり週間を設定し、児童の運動への意欲を高める。 ・運動能力向上のための運動について研修を行う。 (反復横とび、立ち幅跳び、５０m走など)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立清江小学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>【ICTの活用に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材を活用した学習を週1回実施する。 ・学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。 ・協働学習支援ツールを用いた学習を週1回実施する。 <p>【教職員の働き方改革に関する目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆとりの日を週に1回設定・実施する。 ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（基準2）を満たす教員の割合を75%以上にする。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度の学校アンケートで、デジタルドリルを活用して「勉強が楽しくなった」と肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ○令和4年度の学校アンケートで、「家で学習者用端末を使って学習をしている」と肯定的に回答する保護者の割合を75%以上にする。 ○令和4年度の教員アンケートで、協働学習支援ツールを「積極的に活用した」と肯定的に回答する割合を75%以上にする。 ○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1（基準2）を満たす教員の割合を75%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>デジタルドリル「navima」をふりかえり学習等で週1回活用する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の学習の後、「navima」を使い、学習内容の定着を図る。 	
<p>取組内容②【6、教育DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習で「navima」等を使い、個に応じた学習を家庭で行う。 	

<p>取組内容③【6、教育D×（デジタルトランスフォーメーション）の推進】 協働学習支援ツール「SKYMENU Cloud」を取入れた学習を週1回実施する。</p>	
<p>指標 ・「発表ノート」等の機能を使い、学習者用端末での学習に慣れ親しむようにする。</p>	
<p>取組内容④【7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日を週に1回設定・実施する。</p>	
<p>指標 ・ゆとりの日は、定時に帰れるよう教職員相互に意識し声掛けし合うようにする。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	